

公表	事業所における自己評価総括表		
			紙3)

○事業所名	ゆめのわ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日 ~ 令和8年1月22日		
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	7	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和7年1月9日 ~ 令和7年1月17日		
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが主体的に楽しみ、高い充実感を得られている。	興味がないことでも取り組めるようになる「モチベーションの支援」や「特性を強みにかえる支援」、自分で考え行動することを大切にした環境づくりを心がけている。	今後も、「自分で選ぶ」機会を増やしていきながら「自分で決めて、やり遂げた」という主体性と満足感をさらに育んでいくよう、個別の関わりも深めていきたい。
2	散策活動や屋外での経験を豊富に取り入れている。	公共の場でのルールやマナーも、楽しい経験の中で自然に身につけられるよう、丁寧に対応している。	新しい発見と、一步を踏み出す自信につながる体験を拡大していく、「もっと知りたい、やってみたい」という意欲をさらに引き出せるよう取り組んでいきたい。
3	保護者の不安や悩みに誠実に耳を傾け、家庭と事業所が同じ方向を向いてお子さんを支える信頼関係。	送迎時のわずかな時間でも対話を大切にし、「困ったこと」ではなく「今日見つけた素敵な変化」を具体的にお伝えしている。	現在は個別対応が中心となっているが、今後は保護者の方々が「一人じゃない」と感じられるよう、茶話会等を企画し、保護者同士の横のつながりも支援できる体制を整えていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流できるイベントを開催できなかった。	日々の送迎時等の個別対応を優先し保護者同士が悩みや情報を共有できる茶話会等のイベントを企画・実施するに至らなかつた。	アンケート結果から保護者間の交流を求める声を確認した。次年度は、対面での開催が難しい場合でも、オンラインの活用で「お悩み共有会」等、無理のない形での交流機会を段階的に設けていく。
2	避難訓練の実施や、災害時のマニュアルについて保護者への説明が十分にできていなかった。	避難訓練は定期的に実施しているものの、その内容や災害発生時の具体的な連絡手段や引き渡し場所などについて保護者への情報共有が不足していた	避難訓練を活動の中で取り入れ、保護者へSNS等で報告し、保護者の安心感につながる周知を徹底していく
3			